

修了生挨拶

本日は私達修了生のためにこのような式典を催していただき、誠にありがとうございます。
また、ご多忙の中ご出席くださいました先生方ならびにご来賓の方々に深くお礼申し上げます。

MDプログラムの4年間で、様々な体験をさせていただくことができました。私は修士2年生の時に1期生としてMDプログラムに参加しました。プログラムが立ち上がったばかりで先駆者がいない中で、自分たち1期生が新たな道を切り拓こうという思いで活動してきました。MDプログラムには自分が所属する材料系の学生だけでなく、物理系や化学系、薬学系などの学生も参加しています。普段の大学院生活では関わりのない他分野の方の考え方はやはり自分のものとは違って、とても刺激的で、異分野を理解することの大切さを身をもって実感しました。とは言いつつも、はじめの頃はどうしても狭い専門分野の考え方に閉じこもっている状態でした。その状態で参加した企業インターンシップでは、企業で活躍している技術者と自分の大きな差を痛感しました。また、修士課程終了時の **Qualifying Examination**、**QE1** では、企業委員の先生方から手厳しい指摘を多く受けました。しかし、その後、博士課程に進学し、インターンシップやオーバービューなどの貴重な体験を積んだことで大きく成長でき、深い専門性と多角的な視点を持った人材に近づけたのではないかと感じています。これに加えて様々な環境で様々な人と仕事を遂行するために必要な度胸がついたとも感じています。これは知識として学ぶのではなく、インターンシップをはじめとして多種多様な環境で実際に活動できたことで身につけられたものであり、そのような機会を与えてくださったこのプログラムにとっても感謝しています。

4月からは企業に就職し、博士号をもった技術者として働きます。MDプログラムで学んだこと、身につけたことを活かし、産業界において「マルチディメンジョン」な分野で活躍できる技術者になれるように更に精進していきたくと思います。

最後になりますが、マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラムの創設、運営にご尽力いただき、このプログラムで学ぶ機会を与えてくださいましたプログラム担当の先生方、プログラム内の授業でご指導いただきました先生方、プログラム生としての生活を支援いただきました職員の方々、それから今までともに学んだプログラム院生の皆様に心から御礼申し上げますとともに、リーディングプログラムの益々の発展をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

平成30年3月28日

マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム 修了生代表

高野 彬